

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		上野駅周辺全地区整備推進協議会助成				所管	都市づくり部 都市計画課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	昭和 5 7 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	東京都台東区上野駅周辺全地区整備推進協議会補助金交付要綱				
	事業対象	直接の対象:上野駅周辺全地区整備推進協議会会員 最終的な対象:上野駅周辺全地区住民						
	事業目的	上野駅周辺全地域の特性に応じた上野駅及び駅周辺の環境の改善や、建築物等の整備等を協議する上野駅周辺全地区整備推進協議会を支援することにより、安全で住みよいまちづくりに寄与することを目的とする。						
	事業内容	上野駅周辺全地区整備推進協議会に対して、団体活動に要する経費の一部を助成する。						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度	
	活動指標	助成件数	件	—	1	1	1	
	成果指標	役員会・委員会開催回数	回	—	20	21	19	
	決算額	(単位:千円)			425	425	425	
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			833	852	1,700	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			425	425	425	
		総経費			1,258	1,277	2,125	
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			1,258	1,277	2,125			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	現在進められているアメ横地区高架橋耐震補強工事や東上野二丁目特定街区のビル建設など、上野駅周辺環境は大きく変化しており、協議会のまちづくり活動の必要性は増加している。					
	効率性	3	協議会は、上野駅周辺全地区各町会、商店会、各種商工団体の構成員等が会員になっており、まちづくり全体の調整行うにあたって、最も効率的である。コストの面も、区職員の人件費と要綱に基づく補助金の支出だけで、効率的である。					
	手段の適切性	4	東京都台東区上野駅周辺全地区整備推進協議会補助金交付要綱に基づき、適切な支援を行っている。					
目的達成度	4	区、JR東日本、協議会で定期的に協議を行っており、相互間の地域に対する理解と信頼感が増している。協議会の要望事項についても、順次、達成されている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
上野駅周辺の環境は、御徒町駅周辺地区の整備、アメ横地区高架橋耐震補強工事、東上野二丁目特定街区のビル建設などで大きく変化化することが予想され、周辺全地区で調整しなければならない懸案が多く、協議会に対する支援を継続する必要がある。					維持			